

とよひら・りんく NewsLetter

発行 札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会 「とよひら・りんく」事務局



札幌市豊平区西岡・福住地区在宅医療連携拠点事業推進協議会



市民フォーラムを開催しました

2013年2月23日(土) 14:00~17:00

札幌大学プレアホールにて市民フォーラムを開催しました。

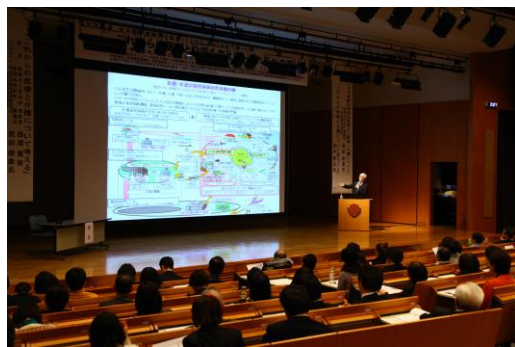
地域住民、行政・医療・介護関係者等、約400名が参加されました。

特別講演1

「少子高齢者社会を見据えた医療・介護について」 総務省消防庁審議官 武田俊彦氏

(前 厚生労働省 社会保障担当参事官)

総務省消防庁審議官の武田俊彦氏(前厚生労働省社会保障担当参事官)をお招きし、今後の医療・介護政策について講演して頂きました。



アンケート(一部)

- ・医療行政が在宅医療に向けた方向に確実に進んでいることと在宅での介護の大変さを知りました。現場と行政との連携をもっと強化しなければならないと感じました。
- ・実務担当者の思いが聞けて良かった。
- ・国の方針が見えてきました。
- ・今後の医療と介護の向かうべき方向が理解できました。

特別講演2

「これからの医療と介護について思うこと」 岩本 恭生 氏(タレント)

ご自宅で重病を患う妻と介護を要する実母と同居し、在宅介護を行いながら芸能活動を続けている岩本恭生さんに講演して頂きました。



アンケート(一部)

- ・実体験の話に大変感動しました。自分も今後、家族の介護が必要になったときの光となったような気がします。
- ・とても感動しました。頑張ってもらいたい気持ちと自分も頑張ろうと思いました。
- ・実体験、笑いあり涙ありで聞かせて頂きました。
- ・内容が良かったです。納得できました。

実践報告

写真(左)五十嵐知文副会長、(右)中嶋豪院長

とよひら・りんく 五十嵐知文副会長(西岡病院副院長)が「とよひら・りんくの取り組み」を報告し、ご在宅クリニックの中嶋豪院長が「在宅医療の実際」と題して、在宅医療の現状について報告致しました。



シンポジウム

最後にシンポジウムを行いました。

(座長 社会医療法人恵和会 西澤寛俊理事長)



アンケート (一部)

- ・これからの在宅医療強化について、具体的に聞けたこと。自分達が、どのような死を選んでいくかを考えられたこと。とても良かったと思いました。
- ・団塊世代の一人として健康自己管理に努めたいと思います。
- ・多方面からの具体的な講演等をうかがい、個人として人生の最終をどう考えるか参考となりました。多くの方が日々努力されている事も知りました。
- ・「とよひら・りんく」という名前は聞いていたけれど、内容が良くわかっていなかったのが今回参加することができてよかったです。
- ・更に地域に周知する取り組みを行って欲しい。まだ周知に課題があると思います。
- ・今後、市内全域に広げる方法論を提案して頂きたいです。

今後について「不安な」「困っていることはありますか (アンケートから[一部])

- ・子育てと仕事の両立で大変なのに、介護もしなければならなくなったらと考えると先が不安になる。(30代)
- ・両親が遠方であるため、今後、十分に介護できるか不安があります。(40代)
- ・現在、両親とも施設に入所してお世話になっている。今後も施設に入所継続ができるか…。(40代)
- ・自立が難しくなったときに不安があります。(50代)
- ・家族に認知症と思われる症状があるが、本人病院に行きたがらず対処に行き詰まっている。(50代)
- ・年金生活のため料金が一番気になる。(60代)
- ・老後の蓄えが少ないことが不安である。(60代)
- ・独身で姉妹も近くにいないのでどうなるのだろうと漠然と思う。(70代)
- ・自分が思うように体が動かなくなったらどうするか。自宅で生活したいが…。(80代)

今後どのような内容を希望されますか (アンケートから[一部])

- ・岩本さんの話のような、介護体験を聞く機会を設けて欲しい。
- ・体験談が具体的だし理解されやすいと思う。
- ・在宅医療の話をもっとしていただけると、一般の方にも浸透されていくと思います。
- ・在宅で迎える終末期の具体的な心構えや考え方。
- ・リビングウィルについて。
- ・各施設(介護老人保健施設、高齢者住宅、有料老人ホーム、特別養護老人ホーム、グループホーム)の違いや各施設の状況(現状)などについて。
- ・地域の方々の意見をより聞きたいし、反映する場を設けて欲しい。
- ・独居老人に対しての地域のつながり体制、消防との連携について。
- ・認知症の段階的な症状と長谷川式スケールについて。

下記にて今年度の活動報告を行います。

3月23日(土) 成果報告会(於 厚生労働省)

3月30.31日(土日) 日本在宅医学会大会(愛媛県)

とよひら・りんく事務局 西岡病院 地域連携室 岡村・川村

電話 011-853-8322(平日 9-17時)

メールアドレス: info@toyohiralink.jp

ホームページ: <http://www.toyohiralink.jp/>